

令和4年度の決算を審査

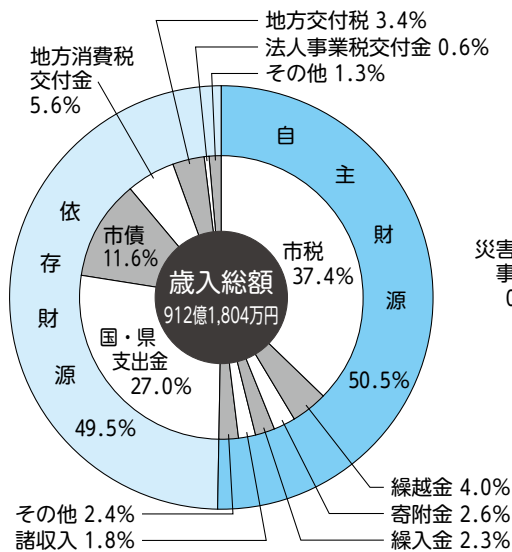
一般会計・特別会計・企業会計の

◆2～3ページの表は、1万円未満を四捨五入してあるため、差引額及び比較増減額が一致しない場合があります。

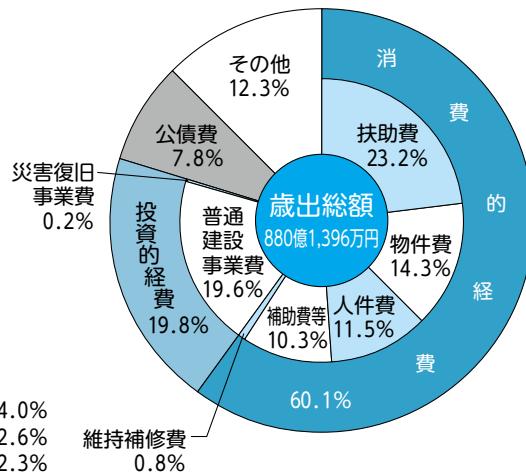
一般会計決算

	歳入	歳出	差引額
令和4年度決算額	912億1,804万円	880億1,396万円	32億408万円
令和3年度決算額	857億5,472万円	821億1,064万円	36億4,408万円
比較増減額	54億6,331万円	59億331万円	
増減率	6.4%	7.2%	

歳入



歳出



一般会計予算決算委員会での主な質疑

問 市税の収入状況は。

答 令和3年度と比較し、市税全体では、令和4年度の収入額は令和3年度と比較し、3億5,689万2,842円の増となった。主な税目別では、法人市県民税が一部企業の収益減や物価の高騰、円安などの影響により2億4,695万1,986円の減、固定資産税及び都市計画税が令和3年度限定の新型コロナウイルス感染症に係る軽減措置の終了などにより4億3,993万7,451円の増、市たばこ税がたばこの販売本数が増加したことにより7,451万1,071円の増となった。

問 水産業を振興させるための取組は。

答 水産物流通促進事業及び出漁促進事業により、漁業意欲の維持・増進を図るとともに、燃料コストの負担を軽減することで漁業活動を下支えたほか、市内市場への水揚げを奨励した。また、一次産品販路拡大戦略推進事業により、一次産品のブランド化と販路拡大を図るため、テストマーケティングやPR活動を実施したほか、水産関係団体による魚食普及の取組に対して支援を行った。

問 新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で観光交流客数拡大のための取組は。

答 令和4年度は、沼津夏まつり・狩野川花火大会を3年ぶりに開催するなど、観光イベントを再開するとともに、

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、宿泊・レジャーキャンペーンや団体旅行の促進補助などを実施した。また、NHK大河ドラマに出演する俳優を招いたトークイベントを開催したほか、首都圏や隣接県を対象とした誘客キャンペーンを実施するなど、本市への誘客と市内観光業の活性化に取り組んだ。

問 まちなかの公共空間を活用したOPEN NUMAZUの実施による成果は。

答 歩行者通行量や滞留者数が増加したほか、来訪者などへのアンケート調査結果では事業継続への期待など、高い満足度が示された。また、イーラde周辺では来訪者がリ

モートワークを行うなど行動の多様化が見られたほか、仲見世商店街では周辺エリアへの回遊が確認できるなど、まちなかの活性化につながったものと認識している。

問 学校給食費無償化実施における評価は。

答 令和4年度は、食材費の高騰を踏まえ、1食当たりの給食費単価を増額した上で国の地方創生臨時交付金を活用して令和4年10月から6か月間、全額無償化を実施した。給食費の無償化に対しては多くの保護者等から好意的な評価を受けた。また、子育て世帯の支援のほか食材費の確保により、食育の推進や食の安全・安心・安定に寄与したものと認識している。